



男子 80mH

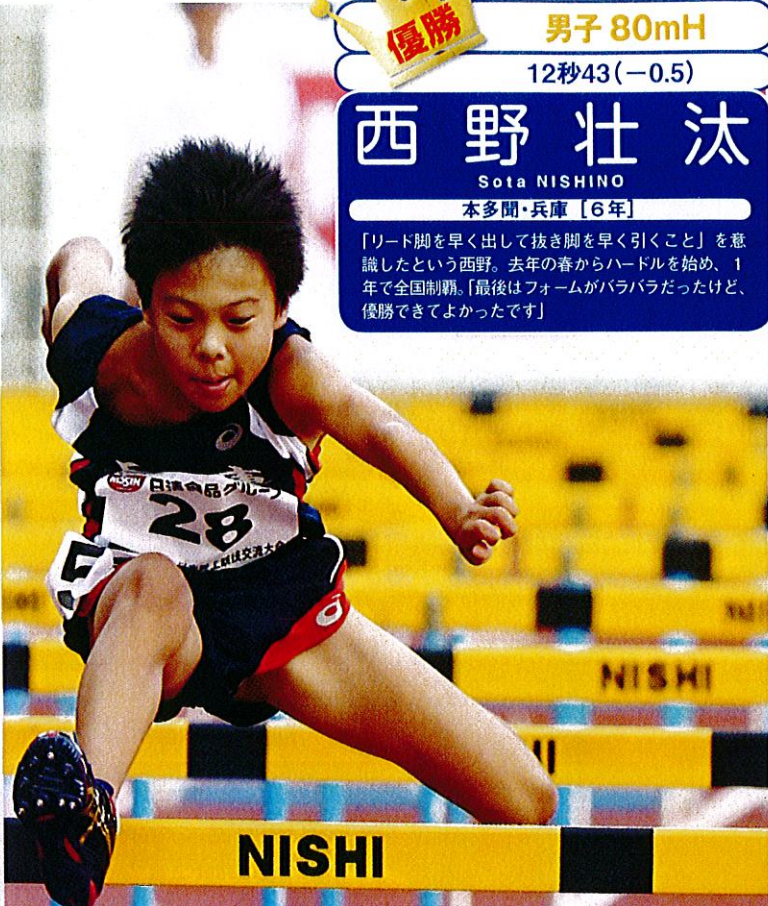
12秒43(-0.5)

西野 壮汰

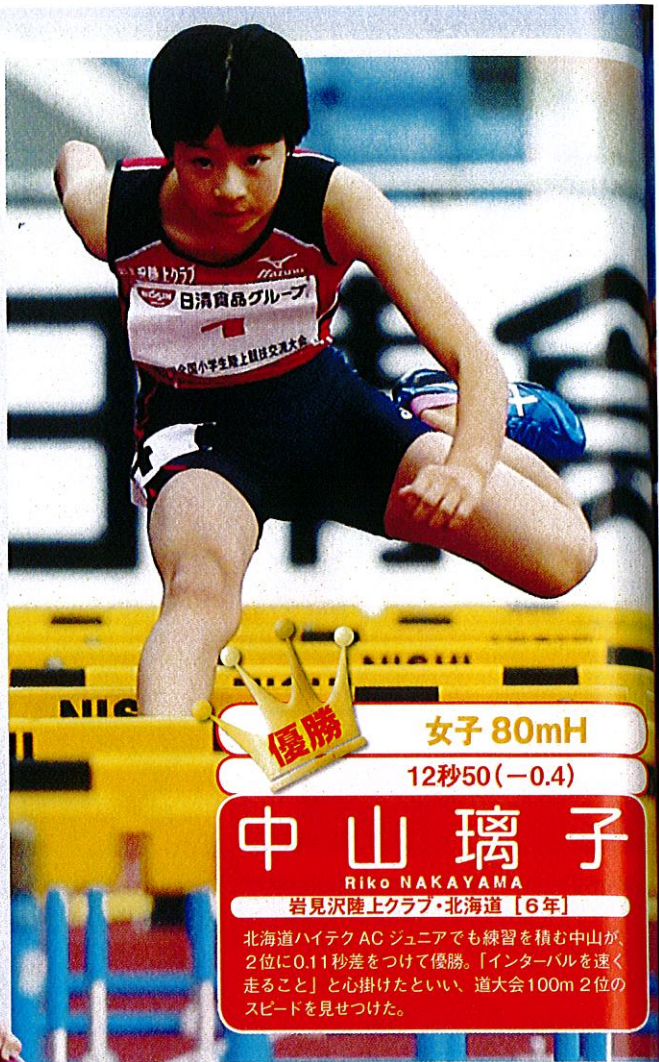
Sota NISHINO

本多聞・兵庫 [6年]

「リード脚を早く出して抜き脚を早く引くこと」を意識したという西野。去年の春からハードルを始め、1年で全国制覇。「最後はフォームがバラバラだったけど、優勝できてよかったです」



NISHI



女子 80mH

12秒50(-0.4)

中山 璃子

Riko NAKAYAMA

岩見沢陸上クラブ・北海道 [6年]

北海道ハitek AC ジュニアでも練習を積む中山が、2位に0.11秒差をつけて優勝。「インターバルを速く走ること」と心掛けたといい、道大会100m 2位のスピードを見つけた。



女子 4×100mR

52秒10

布勢 T C

鳥取

予選こそ53秒88で組2位だったが、準決勝では52秒70をマーク。決勝は「バトンもすべて完璧。6年生は最後の大会なので悔いのないように走った」と心一つにして全国優勝を果たした。

1走 岸本 百桃 (6年)

Momo KISHIMOTO

2走 吉田 明香里 (6年)

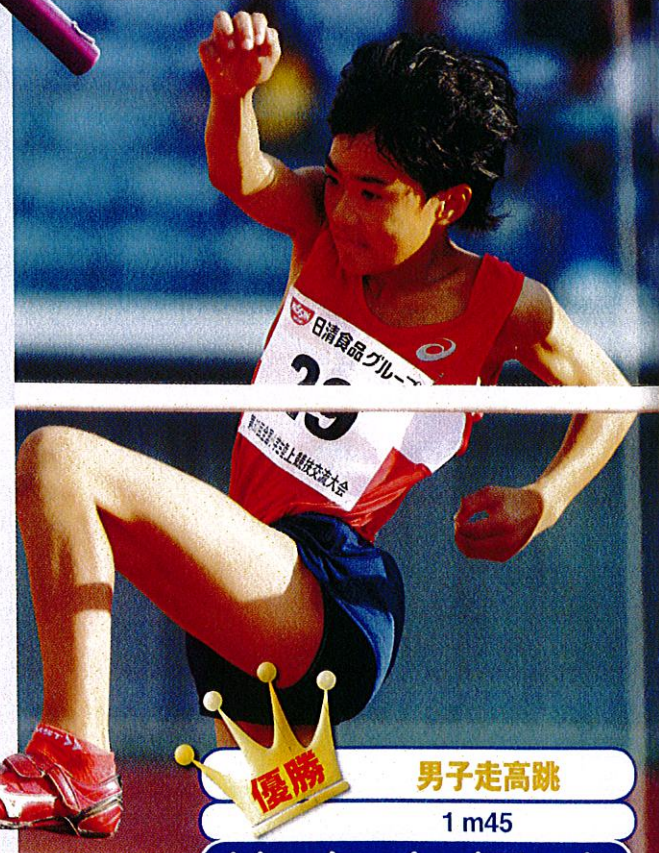
Akari YOSHIDA

3走 清水 美京 (5年)

Miyako SHIMIZU

4走 尾崎 星 (6年)

Akari OSAKI



男子 走高跳

1m45

竹之内 優武

Sugumu TAKENOUCHI

里風・奈良 [6年]

1m25から1m45まで、すべて1回で成功。1m48は失敗したが試技差で優勝を果たした。空中の抜き脚を素早く上げることが練習してきた竹之内。「あまり実感はありません」と笑顔だった。



中山璃子 (岩見沢陸上クラブ・北海道 [6年])
RIKO NAKAYAMA

女子80mH

- ①12秒50 (-0.4)
- ②12秒52
- ③2002年6月4日
- ④154cm・40kg、O型

「優勝できてすごうれしいです。前に前に進むことを意識して走りました。勝因はインターバルを速く走れたことだと思います。将来は世界で通用する選手になりたいです」



渡辺里咲 (宇都宮陸上教室・栃木 [6年])
RISA WATANABE

女子走高跳

- ①1m38
- ②1m35
- ③2002年12月7日
- ④161cm・41kg、A型

「1m41が目標だったので跳べなくて悔しいです。足を合わせるのが難しかったです。1m38はうまくいって驚きました。中学には陸上部がないのですが続けたいです」



石堂陽奈 (八雲陸上少年団・北海道 [6年])
HINA ISHIDO

女子走幅跳

- ①5m05 (-0.1)
- ②5m10
- ③2002年4月15日
- ④153cm・40kg、AB型

「5m20が目標でしたが、優勝できて良い思い出になりました。前日練習でも調子が良くて、踏み切りが合っていました。短距離も好きなので、両方で成長していきたいです」



寺田奈津美 (遠竹JRC・長崎 [6年])
NAZUMI TERADA

女子ソフトボール投

- ①66m91
- ②61m52
- ③2002年5月25日
- ④154cm・52kg、O型

「去年の大会では20位と悔しい結果だったので、リベンジができてうれしいです。腰をうまく回して、練習通りに投げられました。将来はスポーツキャスターになりたいです」

女子4×100mR

1走 岸本百桃

Momo KISHIMOTO

- ③2003年1月13日
- ④138cm・29kg、A型

「日本一になるためにみんなで頑張ってきました。スタートもうまくいったのでよかったです」

2走 吉田明香里

Akari YOSHIDA

- ③2002年9月15日
- ④155cm・36kg、A型

「6年生で最後の大会なので、悔いのないように走りました。バトンもバッチリでした」

3走 清水美京

Miyako SHIMIZU

- ③2003年10月11日
- ④150cm・32kg、AB型

「6年生のために走れて、優勝できてうれしいです。前の人を抜かそうと思って走りました」

4走 尾崎星

Akari OSAKI

- ③2003年3月9日
- ④151cm・32kg、A型

「前の3人が一生懸命走ってくれて、精いっぱい自分の走りができました。本当にうれしいです」



右2人目から走順。右端は補欠の大田絵恋(6年)

布勢TC(鳥取)

- ①52秒10
- ②52秒24